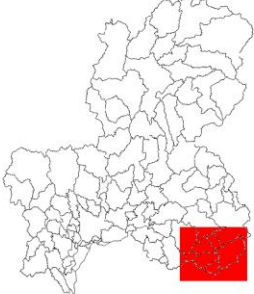


ハコネシロカネソウ	<i>Dichocarpum hakonense</i> (F.Maek. et Tuyama ex Ohwi) W.T.Wang et P.K.Hsiao	絶滅危惧 I 類
(環境省:準絶滅危惧)		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	写真なし
形態の特徴	地中を横に這う白色の根茎で殖える多年草。短い匍匐枝を出すことはあるが、ツルシロカネソウのように長く伸びることはない。茎の高さは10-20cm。花は白色。やや横向きになり、全開しないこともある。	
生態的特徴	山中の湿った場所に生える。	
分布状況	日本固有の種。本州(神奈川県、静岡県)の温帯～暖帯に分布するとされているが、岐阜県では県南の東部に生育することが確認された。	
減少要因	本種の分布域は県南の東部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良